

令和4年度教育活動に関する自己評価とそれに対する学校関係者評価

A・・・良くできている B・・・概ねできている C・・・余りできていない D・・・できていない

評価対象	評価内容	自己評価	具体的な取り組み	園としての反省と改善策	関係者評価	評価委員の意見
教員・教育及び人的環境	保育の計画性	A	園の教育方針に沿った保育を行っている	教育方針や園長の考えなどの共通理解はできている。経験数によって、それを保育の中で生ずるのはまだ十分ではないかもしれないが、経験を積み重ねて身に着けていけるよう指導していきたい。園行事もコロナ禍での変更があったが、それを見直しの良い機会と受け止めて今後新たに工夫していききたい。	A	永年、園の教育方針を見ているが、どんな状況でも子どもの側になって、考えて、頑張っている様子がわかり、素晴らしいと思う。コロナの影響で計画作りも大変だったと思うが、教育の根本を理解しているのだから、間違いのない教育方針が全うできていると思う。
		A	教育要領・教育課程の理解し、保育を計画している		A	
		B	教育課程や今までの実践をもとにした環境構成の充実に努めている		A	
		A	自らの保育を振り返り改善に努めている		A	
	保育のあり方子どもへの対応	A	園児の健康と安全への配慮をしている	教員同士はよく協力し合っていて、すべての園児のことも概ね共通理解している。特に支援を要する園児への対応は、情報の共有に心がけ、危険を防ぎ適切なかかわりができるよう努めてきた。又、コロナ禍においても子ども同士が関わり合って充実した遊びができるよう努め、保護者の方からも良い評価を頂けたと思う。コロナ感染が一段落しても、健康で安全な集団生活ができるよう努めていきたい。	A	保育者がいつも保育について勉強し、互いに仲良く笑顔が多いのが良い。個性を持った子にも目を向け安全にも気を付けながら自主性を伸ばしてくれる幼稚園だと思ふ。コロナ禍でも、子ども同士が仲良く楽しそうに遊べたのは、制限がある中でも先生が工夫して接していたからと思われる。
		B	子どもを良く理解している		A	
		A	指導者として適切なかかわりをしている		A	
		A	良い遊びの援助者である		A	
		A	保育者同士が連携している		A	
	保育者としての能力・良識	A	保育の専門家としての良識を持っている	保育者としての良識やマナー、義務の遂行などについてはよくできていて、信頼できる人的環境安定的に良い人間関係が築けている。今後は自然環境の充実や、教員自ら書物等から学ぶ姿勢に積極性が欲しい。教員がコロナに感染するなどもあり、自己管理への評価が低くなったかと思われる。	A	忙しい中でも、自分の勉強時間を作って欲しい。気を付けていても感染はあり得るので、余り神経質にならず、いろいろな機会を通じて学んでほしい。そのうえで保育者としての積極性と自己管理を重要課題として再認識することを希望する。
		B	書物を読むなど自ら学ぶ用意がある		B	
		A	環境への感性を持っている		A	
		B	健康で仕事ができるよう自己管理に努めている		B	
	保護者への対応	A	幼稚園での子ども達の様子を適切に伝えている	園だよりや連絡帳と一昨年からは始めたアルバム式の成長記録は、保護者の方と子どもの成長を共有するきっかけとなっている。今年もコロナ禍で、園行事などの中止や変更が多く、保護者の方の理解や協力を要したが、常に協力的に頂けたことに感謝している。行事や園運営を見直すことが多かったが、新しい視点で取り組みきっかけにもなった。苦情処理、特に子ども同士のトラブルが発生した場合は正確な情報伝達、子どもと保護者へのケアと保護者に対する説明責任を怠らないよう今後も努力したい。	A	不安や悩みを話せる環境があつて良い。コロナ禍で不安を感じる人も多かったと思うが、保護者とのつながりを密にしていくなどの工夫があり、努力を感じ、成果も出ていると思う。以前より不安を抱える保護者が多いと思われるので、少しでも安心できるよう引き続き丁寧な対応で接してほしい。
		A	保護者の秘密を守り協力して支援している		A	
		A	礼儀正しい言動をしている		A	
A		子育ての相談や話し合いをして支援している	A			
A		苦情の対応は園長を中心に全園で当たる	A			
地域や社会との関わり	A	園への問い合わせに適切に対応する	いつも評価の低い自然環境や社会への関心については、今年もコロナ対策で、園外に出かけることがなく残念であったが、計画を立てたり、地図を作るなどの準備はしてきた。次年度は地域理解を重点的に考えていきたい。	A	歴史の長い幼稚園だから地域の理解を得られているので、つながりを大切にしたい。又、セキュリティ面と背中合わせになるが、もっと地域と園の合同事業があつても良いと思う。	
	B	地域の人や自然環境との関わりを持っている		B		
	B	地域の自然や施設を理解している		B		
地域の幼児教育への役割	A	園の子育て支援に積極的である	子育て支援は、園開放を中心に感染対策を取りながら積極的に行ってきた。来年度は12回の実施を考えている。小学校との連携も、コロナ禍の為、小学校の先生への公開保育のみに終わった	A	コロナ禍でも、子育て支援活動ができたのは評価したい。又、入園前から、園生活に馴染んだり、就学に向けて学校に馴染むなどの機会があつて良いと思う	
	B	地域の行事や学校との連携に協力している		B		
園長	教育内容・環境	A	教育内容の向上のために努力している	外部の研修はオンラインを含め、多少実施できるようになった。又、感染対策をしながら遊びが豊かになる環境づくりに取り組んできたが、2学期以降感染が広がる中、楽しい環境を十分に提供できないもどかしさがあつた。	A	この項目は、園長先生始め皆が前向きに努力していると思ふ応援している。オンラインなどで研修も受けられるようになり良かったと思う。
		A	幼児が自ら活動するよう環境を整えている		A	
		B	研修が保育に生かせるよう取り組んでいる		A	
設置者	安全管理	A	危機管理マニュアルを作り安全に配慮している	苦情処理も含め教員間で周知を徹底する	A	自然災害にしろ、感染症の広がりなど前もってわかる事ではないので難しいが、日ごろの訓練が大切と思う。女性ばかりの環境で大変と思うが、引き続き頑張りたい。
		A	地震火災等の防災計画を立て、訓練も実施している	防災担当を定期的に変更して全員が主体的に取り組めるようにしている	A	
		A	学校保健法を踏まえ衛生管理に努めている	今後とも衛生管理（コロナ対策も含め）に努める	A	
	人事管理	A	労働基準法を踏まえ労務管理を行っている	就業時間もだいたい守れるようになり、有給休暇もかなり消化できるようになった	A	一般企業に比べればまだ改善の余地はある。無理をせず自分の時間を大切にしたい。
	財務管理	A	予算決算等会計の基準に基き管理している	今後とも会計基準に基き管理を行う	A	借入金も順調に返済しているし、保育者の皆の処遇も改善されていて安心できる。
		A	処遇改善等につき検討している	新制度に移行したので、処遇改善ができるようになった	A	
財務分析	B	安定経営への園児確保は行われているか	園児数は減少傾向にあるので努力する。借入金は滞りなく返済していて、県私幼の借入金返済期間は残り5年となった。	B	園舎も維持し、財務管理も全体的にできていて良いと思う。今後も頑張りたい。	